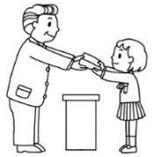




きらくなたより

発行者 鈴木 忠好
発行月 H30年3月.
No. 11

春、弥生…



若者たちは、卒業、就職、進級と巣立ち旅たちのシーズンです。卒業式といえは「仰げば尊し」「蛍の光」が定番でした。私達高齢者から50代くらいまでの方々には懐かしい歌です。明治時代に作られた唱歌で、お世話になった先生や学校に感謝の気持ちを込めて歌ったものです。最近の学校では歌われることもなく、緑中や緑小でもそうですが「旅たちの日に」(後述※)という歌が主流になっているようです。学校観や教育観が時代とともに変わってきたせいでしょう。それでも、卒業式で涙を流し、目を真っ赤にしながら卒業していく子供達の姿は、今も昔も変わわりなく感動もので、頑張れよと応援したくなるものです。

若者たちが希望ある未来に旅たつて行くとき、人生の殆どの事を卒業した我々高齢者は、何処に旅たつのでしょうか！
ハア〜あ・・・！！

3月とは言わず、いつでも発てるのが高齢者の特権？いつ行ってもいいように毎日を有意義に過ごしたいものです。悪いやつに騙されて大金を取られるなどもっての外です。その為にも、こんな講習会が開かれました。

だまされしないで！悪質商法

3月16日、郡山市消費生活センターの出前講座で、きらくなな会会員を中心に20余名が受講しました。

なりすまし詐欺、劇場型詐欺、架空請求型詐欺等の特徴と被害防止法。いろいろな商品トラブル。電話での勧誘等々について詳しく分かりやすいお話を聞くことができました。要は

- ① 電話でお金の話が出たら詐欺を疑え。
- ② 必要の無いものははっきりと断る。
- ③ その場で契約せずに誰かに相談する。
- ④ うまい話には裏がある、といった事でした。

※ (とても良い歌ですよ)

旅たちの日に

小島 登作詞

白い光の中に山並みはもえて
遙かな空の果てまでも君は飛び立つ
限りなく蒼い空に心奮わせて
自由を駆ける鳥よ振り返る事もせず
勇気を翼に込めて希望の風に乗
この広い大空に夢を託して
今別れの時未来を信じて
弾む若い力信じて この広い大空に

懐かしい友の声ふとよみがえる
意味のない静いに泣いたあの時
心通った嬉しさに抱き合った日よ
みんな過ぎたけれど思い出強く抱いて (以下同じ)

きらくなな会総会

4月21日(土) 14時から

結成一年がたち、二年目の総会が開かれます。活動の詳細については「たより」で随時お伝えしてきましたが、多くの活動をし、会員同志の絆も強まり、会を重ねることに楽しい会になってきました。更に楽しい会に発展しそうです。毎日を有意義に過ごすためにも、この会への入会を是非お勧めします。

ご連絡、お待ちしております。

会長 鈴木忠好
電話 024・941・0960

ようやく春が来たなあ



おじいさんの頭は
年中春ですよ！



東7丁目の高齢化率

(H30・1・1現在)

65歳以上の高齢者73人/
東7丁目 全人口970人

高齢化率 7.5%

(きらくな会員 28人

28人/73人 38%)

高齢者の38%が会員